

中村小学校 環境教育全体計画

学校教育目標 **ともに生きる社会をつくる子どもたちを育てます**

相手の話を聞き、粘り強くやりとげられるようにします	(知)
互いを認め合い、高められるようにします。	(徳)
自他の生命を大切に、健やかな心と体を育みます。	(体)
よいこと悪いことを判断し、進んで行動できるようにします。	(公)
様々な人とのコミュニケーションを通して、視野を広げられるようにします。	(開)

横浜市環境教育基本方針
持続可能な社会の実現に向けて、自ら考え、具体的な行動を実践する人づくり

学校の特徴
 住宅密集地帯で、公園や公共施設が点在している。地域の中にいちょうやどんぐりの木がある。校内にはみかん、ザクロ、柿などがあり季節の変化を感じることができる。

中村小学校 環境教育の目標

・学習環境や地域を活用した体験的な学習を通して、自らよりよい環境づくりを実践する子を育てる。

(指導の重点)
 ・手作りの学習環境や地域の人材を活用した体験的な学習を行う。
 ・子どもの実態に合った問題や課題を取り上げる。
 ・子どもの環境に対する思いや願いを実現できるような場の設定と支援をする。
 ・地域社会と子どものつながりを重視する。
 ・学校で学んだことを日常生活で実践することを大切にする。

学年ごとに目指す 子どもの姿						
個別	1年	2年	3年	4年	5年	6年
学校や地域の人、まちや自然とかかわることを通して、自分の思いや願いをもって楽しく活動しようとする。	学校や地域の人、まちや自然と進んでかかわることを通して、自分の思いや願いをもち、進んで活動しようとする。	学校や地域の人、まちや自然と主体的にかかわることを通して、自分の思いや願いを実現したり、自分のよさや成長を実感したりする。	学校を取り巻く自然や町の人とのふれあいを通して、自分の考えを活動の中で明らかにし、自分なりのこだわりをもった活動に取り組もうとする。	身近な自然や地域の人とかかわりを通して、自分の考えを他とかかわりの中で明らかにし、進んで地域の自然や暮らしを見直す活動に取り組もうとする。	自分たちを取り巻く環境に進んでかかわることを通して、自分を取り巻く社会や自然の大切さを実感し、自分の考えの根拠を明らかにし、計画的に解決に向けた活動に取り組もうとする。	自分たちを取り巻く環境に問題意識をもってかかわることを通して、互いの考えを生かし多面的に解決し、学校やまちの人に伝えたり、より豊かな環境を作り出したりする活動に取り組もうとする。

1 環境教育の内容

- (1) 人と自然 ・自分を取り巻く自然環境
- (2) 人と社会 ・自分を取り巻く社会環境
- (3) 食と栽培 ・栽培体験と自分を取り巻く食の環境
- (4) 生活環境 ・水、大気、土壌、音、臭い等、自分を取り巻く環境
- (5) 資源・エネルギー・自分を取り巻く資源やエネルギー

2 各学年の取組

- (1) 各教科等で環境教育と関連して指導できる単元や学習内容を検討し、実践する。
- (2) 環境教育として実践した内容を発表したり、紹介したりする。

3 全校での取組

- (1) ゴミの分別(給食ゴミ、生活ゴミ)
- (2) 学年花壇の維持管理
- (3) 環境教育に関する諸行事の参加呼びかけ

4 委員会活動(スクールきれい委員会)

- (1) ゴミの分別呼びかけ
- (2) 校舎前花壇の維持管理
- (3) 緑のカーテン

5 環境委員会を中心とした教職員、PTAの取組

- (1) 校内のエコアップ
- (2) エネルギー消費削減、ゴミ減量
- (3) 学習とのつながりを考えた地域連携
- (4) 実践内容を学校便りや学年だよりで知らせ、環境行動への意識を広める。

※太字は小中一貫の部分